



1 出荷に際しての注意事項



なるべく落ちた栗は出荷しない



傷や割れからの黒カビの発生

【異なる量目や大きさのものを同じ箱に入れる場合】

→ わかるように仕切りを入れるなど工夫する
新聞紙で仕切っても○

【干しシイタケなどの一次加工品の内容量の表示が違う】

→ うっかりミスのないように、再度確認！

2 今月の生産者(No. 2)



山岸 徳治 さん
幸子 さん
(能登町白丸)

直売所や部会への
出荷だけでは限界が
あるので、顔見えが
始まって良かった！



ハウスがあるので
天候に左右されにくいですよ

左:こまつな 右:ミニトマト

～山岸さん流の顔見えのコツ～

(1) **県内外問わず、スーパーやデパートなどがあれば必ず立ち寄って、情報収集**

→ **何がいくらで売られているかを確認**し、自身の経営の参考にしています。**県内でも都心部と田舎では価格が違う**ことも実際に確認することでわかりました。

→ 売場を実際に回って、品目だけでなく出荷方法を含めて情報収集しながら、作付計画を立てています。

(2) **収穫期が長く、作業性が高いミニトマトやミディトマトを主力品目に！**

→ 安定した収入を確保するためには、**得意とする品目を1つ作り、一定量を長期間出荷**することが秘訣です。

例) 手近にある「のびる」や「よもぎ」などの山菜は奥能登らしさがあるのもっと出荷してもいいのでは？

(3) **まずは作って出荷してみる、「先駆け」を目指す**

→ 種苗会社のカタログや県内外のスーパーなどで常に情報収集し、市場の流れを考えながら、いける！と思った品目は**まず栽培**してみます。

◎お問い合わせはお近くの農協まで◎

JAおおぞら本店	52-3813	JA内浦町	72-2678	JAすずし中央支店	82-6400
// 輪島支店	23-1220	JAすずし営農経済センター		// 宝立支店	84-1311
// 穴水支店	52-1172		82-7505		
// 門前支店	42-0514	// 西海支店	87-2014		
// 能都支店	62-2130	// 日置支店	86-2211	奥能登農林総合事務所	26-2323
// 柳田支店	76-1236	// 三崎支店	88-2041	珠洲農林事務所	82-3113
JA町野町	32-1107	// 正院支店	82-0409		